

こんなことができます!

原子力災害による 精神的健康への影響 評価と精神的健康の 改善方略の開発



夢

福島のお母さんと子どもたちが
安心して暮らせるようにしたい

共生システム理工学類

筒井 雄二

TSUTSUI Yuji

博士 (心理学)

研究室 URL

<https://www.facebook.com/yjtsutsui>

専門分野

実験心理学・災害心理学

- ・原子力災害が引き起こす心理的影響に関する研究

特許情報、著書、論文

- ・原子力災害がどうして福島の子どもたちに心理的問題を引き起こすのか? (2016)
- ・原子力災害が引き起こす心理的影響—福島県が経験した原子力災害の5年間 (2016)
- ・原子力災害が福島の子どもたちに与えた心理的影響—発達心理学的研究がとらえた事実と今後の問題 (2016)
- ・実験心理学—心理学の基礎知識 (2010) ほか著書多数



December 2013, Kiev

ウクライナ、ロシアの研究チームと国際セミナー



私たちは2011年に発生した原発事故が福島県で生活している母子の心にどのような影響を与えたのかを明らかにするため、福島大学に災害心理研究所を設立しました (<http://cpsd.sss.fukushima-u.ac.jp/>)。研究所は、母子を対象に精神健康調査を続けており、精神健康被害の状況を評価するとともに、原発災害が人々の心に影響を与えるメカニズムを解析し、それに基づく心理学的ケアの方法を開発してきました。これまで私たちが培ってきた研究データや知識を共有し、皆さまが直面している問題の解決に尽力します。

想定するパートナー

行政組織、NPO など民間団体、学校等

具体的な連携、事業化のイメージ

精神健康調査、精神健康改善のための取り組みの提案

これまでの取組事例

- ・福島県児童家庭課と協力して「心の問診票」を開発し、震災から5年間、乳幼児の母子の精神健康調査を実施しました。
- ・福島県子育て支援課と協力し、市町村を対象に精神健康改善のための取り組みを実施し、幸福感や精神健康度が改善するなど、科学的に効果を証明しました。
- ・私たちの調査データは福島県が策定する「ふくしま新子ども夢プラン」にも利用されています。

教育
学習支援

健康
福祉

防災
都市計画

地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

職場の メンタルヘルス、 人材育成、 キャリア形成支援



夢

安心・安全な職場づくりと、
充実した日常生活の生涯に
わたる構築

総合教育研究センターキャリア研究部門

五十嵐 敦

IGARASHI Atsushi

教授 修士（教育学）

専門分野

職業心理学（メンタルヘルス、組織マネジメント）、キャリア発達（雇用と人材育成）

特許情報、著書、論文

- ・「ワーキング心理学」（訳）
白桃書房 2017
- ・新人看護職の職場適応 2016



世界中で起きている仕事の変化は、「働くこと」にかかわるすべての人々が直面する課題です。共同翻訳で出版しました。



メンタルヘルスも職場適応や職場の活性化の問題とセットで考え対策を練ることが必要です。産業安全衛生に関する取り組みでは、

調査研究に基づくデータを活かした支援や相談を展開しています。ストレスとその対処、組織マネジメントと人材育成、関連してワークライフバランスや大人のキャリア形成など、職場を取り巻く様々な側面について、現場での調査実施やその結果の活かし方などと一緒に考えながら取り組みを進めています。

想定するパートナー

企業・官公庁、学校

具体的な連携、事業化のイメージ

若者の職場適応、エイジングに伴う生活行動の変化、キャリア教育やキャリア形成支援の課題と問題点など、学校や企業等の現場に即した研究とその成果を活かした支援・相談活動が可能です。

これまでの取組事例

- ・福島産業保健総合支援センターと連携し、各種調査の実施、セミナーや研修会の講師、相談を担当
- ・若者の職場適応に関する調査研究、意識調査、不応問題への検討と対応
- ・文科省や厚労省などはじめとする政策検討、各種取り組みや調査結果のとりまとめ

教育
学習支援

健康
福祉

防災
都市計画
地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

国内外の自然災害の調査経験を活かして防災教育を行います



自然災害の研究を専門とし、これまでに100ヶ所を超える国内外の大規模な自然災害に関する豊富な現地調査の経験を有します。日

本学術会議災害リスク統合研究 (IRDR) 分科会政策検討小委員会委員、土木学会地盤工学会斜面工学研究小委員会幹事として国内外の防災研究に従事しています。福島県内では、福島県地学調査会代表理事、福島県消防防災弁論大会審査委員長などの立場で、地盤災害や防災の普及活動等に関わっています。



夢

災害に強い、持続可能なまちづくり

人間発達文化学類

中村 洋介

NAKAMURA Yosuke

准教授 博士(理学)

専門分野

自然災害科学(地震災害、火山災害、地すべりなど)、防災教育、活断層研究

特許情報、著書、論文

- ・「東日本大震災からの復旧・復興と国際比較」、八潮社、320p、2014年
- ・「実験で学ぶ 土砂災害」、土木学会、272p、2015年

想定するパートナー

防災関連企業、被災自治体、各種学校など

具体的な連携、事業化のイメージ

防災まちづくり、防災教育、防災パンフレットの作成など

これまでの取組事例

福島県内の各種学校、県教育センター、教員免許状更新講習などで防災教育を行ってきました。

教育
学習支援

健康
福祉

防災
都市計画

地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

福利厚生のための 音楽コンテンツの 提供ができます



夢

合唱王国福島を音楽面で
サポートし、子どもたちの
豊かな情操を育てたい

人間発達文化学類

今尾 滋

IMAO Shigeru

准教授 音楽博士

専門分野

オペラ・音楽

特許情報、著書、論文

アリアで聴くイタリアオペラ
(立風書房)

マリーア・ディ・ローアンにおける
バリトンの位置



2013年、日生劇場50周年記念公演「フィデリオ」で
フロレスタンを演じる筆者(中央)



オペラのソリストとして東京を中心に活躍。バリトンからテノールに転向するなどユニークな活動履歴を持ち、レパートリーも他に類例を見ないほど多岐にわたっています。また、日本声楽家協会の養成コースで長らく主任を務めるなど、この分野でも高いスキルを持っています。福島大学に着任後は該博な知識を基にオペラ史の講義を行うなど、この分野における啓蒙活動にも従事しています。市民のうたの制定委員、合唱祭の講評委員などもつとめています。

想定するパートナー

各自自治体、福利厚生のコンテンツを必要とする企業など

具体的な連携、事業化のイメージ

最初歩のオペラ講座、合唱やヴォイストレーニングなど

これまでの取組事例

オペラべらべらコンサートへの参加(三井住友海上文化財団の助成による)をとおして、生でオペラやクラシックの音楽を聴く機会がなく、地元の会館等もコンテンツを求めているような場所に、廉価で分かりやすく親しみ易い短縮版オペラを上演し、福利厚生、情操教育、啓蒙教育に寄与しています。

教育
学習支援

健康
福祉
防災・
都市計画

地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

地域の産業振興のお手伝いをします



夢

現場の視点から地域を
振興する

人間発達文化学類

初澤 敏生

HATSUZAWA Toshio

教授 博士（地理学）

専門分野

経済地理学（地域産業論・地場産業論）、
社会科教育学（地理教育・防災教育）

特許情報、著書、論文

地場産業のブランド化戦略とその課題

東日本大震災被災地のものづくり復興の課題



福島県・郡山市・福島市などの中小企業の振興に関する審議会に参加し、行政の産業政策の検討に協力しています。原町商工会議所・福島商工会議所・喜多方市などと連携し、企業の実態調査を踏まえて今後の方向性について提言しました。また、伊達市や国土交通省と連携し、地域振興のための道の駅建設に協力しました。まちづくり・むらづくりに関しては、福島商工会議所の福島駅周辺活性化計画、福島市の下水道計画、喜多方市の総合戦略、葛尾村・川内村の振興施設建設計画、玉川村の地方創生事業などに協力しています。

想定するパートナー

各地の商工会議所・商工会・産業団体など

具体的な連携、事業化のイメージ

実地調査等に基づく課題の把握と振興策の提言など

これまでの取組事例

- ・原町商工会議所ならびに福島商工会議所と連携して商工業実態調査を実施し、震災後の地域産業の改善の方向性を提言しました。（2011年～）
- ・玉川村の地方創生のために取り組みました。（2016年～）
- ・伊達市の道の駅建設に協力。（2011年～2018年）

教育
学習支援
健康福祉
防災
都市計画
地域産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

美術制作、鑑賞、
芸術企画に関わる
サポートをします



夢

ARTに満ちあふれた、
豊かな地域文化の生活を
めざしたい

人間発達文化学類

渡邊 晃一

WATANABE Koichi

教授 芸術学修士

研究室 URL

<http://www.wa-art.com>

専門分野

絵画、現代美術
(制作学、美術解剖学)

特許情報、著書、論文

主な著書に『絵画の教科書』、
『渡邊晃一作品集 テキストとイマ
ージュの肌膚』



美術制作、美術解剖学をテーマに
研究。国内外の企画展に参加。文
部科学省在外派遣研究員。ペンシ
ルバニア州立大学客員研究員。郡
山市文化芸術振興基本計画策定委員、福島県
「八重の桜」キャラクター審議委員、経済産業省
地域資源活用型研究開発事業、全国生涯学習
フェスティバルなどのアドバイザーを歴任。芸術企
画による国際交流として、CCGA(大日本印刷株
式会社)ゼミナール、「福島ビエンナーレ」「風と
土の芸術祭」「豊穰の芸術祭」などを企画監修。
舞台美術の制作(新国立劇場)や映画制作の協
力。震災後の復興支援活動が小学校「図画工作」
教科書に掲載。第30回教育美術賞(佐武賞)。

想定するパートナー

芸術文化施設、企業、教育諸機関、保育園、生涯学習課、
商工会議所、観光協会・温泉組合、被災自治体など

具体的な連携、事業化のイメージ

芸術文化の振興(絵画、現代美術、映像メディア等)。地域
資源を通じた芸術企画。地域産業と連携した研究開発の支援。

これまでの取組事例

- ・企画監修:「福島ビエンナーレ」、「風と土の芸術祭」
- ・震災復興支援:「鯉アートのぼり」(福島市街地、福島空
港ほか)、「黒塚発信プロジェクト」(福島県立博物館)
- ・講座:油彩、水彩教室、人体素描
- ・映像協力:『万能鑑定士Q』(2014)、『図書館戦争』
(2015)、日本テレビ『ルーヴル美術館特別番組』(2015)

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

食を通して
健康づくりを
応援します



夢

「おいしい」「楽しい」
食を通して、豊かな生活を
送りましょう!

人間発達文化学類

中村 恵子

NAKAMURA Keiko

教授 博士(学術)

専門分野

調理科学(膨化食品、加熱調理など)、食教育(小学生・中学生・大学生の食育、味覚教育など)

特許情報、著書、論文

- ・「肉類のオープン加熱終了後の内部温度変化に及ぼす加熱・放置条件、角皿の熱容量及び試料の厚さの影響」、日本調理科学会誌、49巻、p.26-34(2016)
- ・「大学授業への味覚教育導入の試み」、人間発達文化学類論集、27号、p.55-64(2018)



調理学の究極の目的は、料理をおいしくすることです。「おいしく」するための調理・調味操作の科学と共に、どんな条件や環境が「おいしさ」に影響を及ぼすかをも研究対象としています。

大学生の食生活状況を調査すると、食事をおいしく楽しく食べてはいない現状を目にします。それは一般家庭も同様のようです。食事をきちんと摂ることは栄養的で健康に役立つばかりでなく、生活の質をも向上させます。食事を見直し食生活を改善するためのお手伝いができれば幸いです。

想定するパートナー

自治体や学校など

具体的な連携、事業化のイメージ

食育推進計画の策定、食関連の事業の推進、食育講演会や料理教室を通しての啓蒙など

これまでの取組事例

福島市食育推進懇談会の委員を務めてきました。また、保護者、教師、生徒を対象とした食育講演会、わくわくJrカレッジ「身近な生活の科学」にて料理教室などを行っています。桃やさるなしの商品化研究や、観光開発における食へのアドバイスなどに関わったことがあります。

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

福島の農業再生をサポートします
果樹の新たな可能性を模索します



夢

福島県に儲かる
果樹産業を!

農学系教育研究組織設置準備室

高田 大輔

TAKATA Daisuke

准教授 博士(農学)

研究室 URL

<http://www.agri.fukushima-u.ac.jp/>

専門分野

果樹園芸学

モモやブドウの栽培。放射性セシウムの分配

特許情報、著書、論文

Takata D. Translocation of Radiocesium in Fruit Trees. In: T. M. Nakanishi and K. Tanoi (eds.). Agricultural implications of the Fukushima nuclear accident. (Springer-Verlag)



調査の様子(収穫)



放射性Csの果樹樹体内における動態について様々な研究を行っています。例えば、樹体表面に多くの放射性セシウムが附着していることを突き止め、この成果は事故翌年に実施された樹皮の高圧洗浄によるCs除去へとつながりました。

果樹の栽培から流通までの様々な問題に対して取り組んでいます。果肉障害低減策やドローンや3D再構築技術を用いた空間把握と樹形の改善、青果物の海外輸出に関する流通環境・嗜好性の現地検証についても調査しています。被災地への新規果樹の導入に関して、実証研究を企業、他大学、自治体と行っています。

想定するパートナー

農業者・農業団体、農業・食品周辺産業

具体的な連携、事業化のイメージ

果樹栽培に関する新規事業、復興事業

これまでの取組事例

農林水産省、『果樹の放射性セシウム低減技術の開発』において、果樹樹体内の放射性セシウムの動態を突き止めた。農林水産省、『青果物の海外輸出プロジェクト』にて果実類の海外輸出時の流通環境、品質調査、嗜好性調査を行っている。『デジタルアース共同利用特定課題研究』にて、空撮写真を利用したモモ樹の整枝・剪定効果の評価を行っている。

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

成人を対象とした 教育研修講座の開発 をお手伝いします



これまで人間の基本的な能力である注意力や**記憶力**について、その**加齢差**や**個人差**を中心に調べてきました。パソコンに画像を提示してどれくらい覚えられるか、アンケートを用いて人々の日常生活の中での記憶の程度を尋ねる、といった人間相手の地道な実験調査を積み重ねることで注意や記憶の特徴に迫ろうとしてきました。現在はこのような基礎的な知見を大人の学び(**成人教育**)に応用することに

関心をもっています。また所属部門では主に生涯学習・市民教育を担当し、大学主催の公開講座を企画運営するとともに、地域団体主催の講演会などでも講師やコーディネータを務めています。

夢

大人の学びの成果が還元・循環される地域社会作り

地域創造支援センター

木暮 照正

KOGURE Terumasa

教授 博士(学術)

研究室 URL

<https://www.ad.ipc.fukushima-u.ac.jp/~p232>

専門分野

心理学(認知・教育)、成人教育支援(成人学習の心理的効果と教育的意義)

特許情報、著書、論文

「大学公開講座における地域成人学習者のニーズ把握に関する一考察～学習の方向性に関する動機の視点から～」『福島大学地域創造27(1)』(2015年)

想定するパートナー

自治体教育委員会、民間企業人事部門

具体的な連携、事業化のイメージ

ニーズに応じた教育研修講座の開発支援

これまでの取組事例

自治体では「社会教育委員」(福島県・福島市)等を務め、成人教育に関して幅広く助言を行っています。また民間では「ラジオ福島番組審議委員」を務めています。

教育

学習支援

健康

福祉

防災

都市計画

地域

産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ

サイエンス

情報通信

環境

ナノテク

材料

エネルギー

ものづくり

技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

「更生保護」の 充実と発展に 貢献します



夢

「やり直せる地域社会」を
作りたいです

行政政策学類

高橋 有紀

TAKAHASHI Yuki

准教授 博士(法学)

専門分野

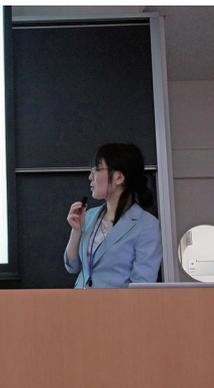
刑事政策・刑事法
(日本と英国の更生保護、犯罪者
処遇)

特許情報、著書、論文

「2000年代以降の日本と英国における
更生保護制度の問題点と今後の
展望(1)、(2・完)」(『一橋法学』
12巻2号、3号)ほか

更生保護制度の担い手
! 察官と保護司が質的に異なる長
した「官民協働」
が保護観察官の量的不足を補う

の役割=保護観察官とは異なる
て、保護観察官の量的不足を補
察家」



2015年4月に福島大学に着任し、刑事訴訟法を中心に、法学、刑事政策学に関する授業・ゼミを担当しています。研究テーマである、日本と英国の更生保護制度については、保護司や保護観察官の役割、両国の犯罪者・非行少年処遇の動向、更生保護における地域社会の役割等に関して論文執筆や学会発表をしています。また、ゼミには毎年、裁判所や検察庁、保護観察所、児童福祉等の分野で働くことを希望する学生がおり、福島の刑事政策を支える人材を多く輩出したいと考えています。

想定するパートナー

更生保護、刑事司法にかかわる官民の皆様

具体的な連携、事業化のイメージ

理論面・政策面での助言、提案、共同研究など

これまでの取組事例

福島県弁護士会、放送大学福島学習センター、教員免許更新講習等で、日本の更生保護や刑事司法の現状について講演・講義をした経験があります。また、中学高校等の「法教育」に関連し、更生保護制度の仕組みや司法、矯正・保護の分野を支える人々の仕事について話す機会があれば、積極的にお引き受けしたいと考えています。

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農
経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

教育の情報化と 情報セキュリティ教育 をサポートします



夢

やりがいを持って
学習できる安全安心な
情報教育環境の構築

共生システム理工学類

篠田 伸夫

SHINODA Nobuo

教授 博士（心理学）

研究室 URL

<http://isl.sss.fukushima-u.ac.jp/>

専門分野

情報教育・情報セキュリティ
ITCを活用した教材開発・セキュ
リティ調査研究

特許情報、著書、論文

teiten2000を活用した閲覧ツ
ールと学習指導要領準拠の教材開発
(2011年) (共著) SSHルート
フォース攻撃下における攻撃ツール
の識別(2013年) (共著)

teiten2000

学習キット

学習キット
定点の歩き方リーフレット
開発班・ワークベンチ
資料室

facebook

teiten の歩き方 2015

teiten2000について
@teiten2000について
定点データ室
期間限定イベント開催

地球の内部

地球の表面

地球の周辺

K3

大気と地層の様子
目録と目録の書き
大気と地層と土壌の成り
大気と地層と土壌の成り

043

K4a

天気の様子
天気と気象
天気と気象と気象
天気と気象と気象

K4b

月の様子
月の様子
月の様子と月の様子
月の様子と月の様子

044

K5

海水の様子
海水の様子
海水の様子と海水の様子
海水の様子と海水の様子

天気の変化

天気の変化
天気の変化と天気の変化
天気の変化と天気の変化

045

土地のつくりと変化

土地のつくりと変化

K6

月の天候
月の天候
月の天候と月の天候
月の天候と月の天候

046

teiten2000 ウェブ・アプリケーション教材



インターネットに接続したカメラと
気象センサからのデータを集約
し、学校教育用に教材を整備
配信するシステムに関する共同

研究を2000年から続けてきています。
インターネットブラウザの高機能化により、ウェブ・アプリケーションとしての教材の可能性を感じ、開発を続けています。
また、インターネットセキュリティについての基礎的な調査研究も行っています。

想定するパートナー

教育機関・教育部署

具体的な連携、事業化のイメージ

ITC 教育関連サービスのアドバイス

これまでの取組事例

teiten2000システムの運用と教材開発およびインターネット向けのサービス運用。

福島県教育センター教育情報データベースのホスティングと運用。

TUFクイズ番組の集計システムの開発・運用補助。

教育
学習支援

健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

環境計画、環境教育 (原子力・放射線教育を含む) を支援します



夢

福島第一原発事故の教訓を
踏まえた環境計画、環境教育
を広く展開したい

共生システム理工学類

後藤 忍

GOTO Shinobu

准教授 博士(工学)

専門分野

環境計画、環境システム工学、環境教育

特許情報、著書、論文

「福島第一原子力発電所の事故後における
福島県の物質フローの推計」、福島大学地域
創造、Vol.26、No.1、15-32、2014年
『みんなで学ぶ放射線副読本～科学的・倫
理的態度と論理を理解する～』、合同出版、
2013年
「チェルノブイリ博物館とコミュン福島の展
示を比較して」、フクシマ・アクション・プロジェ
クト事務局『「コミュン福島」は3.11以降の
福島をどう伝えているか』、7-68、2018年



ふくしま環境フェスタ 2017 に出展した自転車発電体験のブースの様子



環境計画について幅広く研究して
います。具体的には、1)地理情報
システム (GIS) を活用した生物生
息空間の計画、2) 資源・廃棄物
の流れを把握する物質フローの分析、3) 環境
計画の進行管理に貢献する環境指標の開発や
環境負荷の“見える化”、4) 人々の意識・行動
の変革を促すための環境教育教材の開発や環
境メディアの特性分析、などです。1)～3) は地
方自治体の環境基本計画等との関連性も深く、
実際の計画策定にも携わってきました。4) につ
いては、小学生対象の環境教育事業を2001年
から協働で実施してきた他、3.11後は原子力・
放射線教育の教材開発も行っています。

想定するパートナー

国、地方自治体、NPO・NGO

具体的な連携、事業化のイメージ

環境指標による評価、物質フローの推計、環境教
育事業の企画・運営

これまでの取組事例

<環境計画の策定に携わった事例>

- ・福島県環境基本計画(2004～2014年)
- ・福島県循環型社会形成推進計画における福島県の物
質フロー推計(2007、2011、2014年)
- ・福島市再生可能エネルギー導入推進計画(2015年)

<環境教育、普及啓発イベントに携わった事例>

- ・ふくしまエコ探検隊(福島市、2001年～現在)
- ・環境省3R推進マスター(環境省、2007年～現在)
- ・ふくしま環境フェスタ(福島市、2013年～現在)

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

原発事故後の福島市のサウンドスケープの変化の様子の記録を用いた、原発事故の市民生活への影響の一側面を伝える作品・教材作成



夢

原子力発電所のない、安心・安全な社会の構築

共生システム理工学類

永幡 幸司

NAGAHATA Koji

教授 博士 (芸術工学)

研究室 URL

<http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/~nagahata/index-j.html>

専門分野

サウンドスケープ論

特許情報、著書、論文

What Should the Soundscape Community Do When Listening to the Soundscapes of Fukushima? (論文：単著)
原発事故後の福島大学をめぐる覚書 (論文：単著)
『原発災害とアカデミズム』 (著書：分担執筆)



東京電力福島第一発電所事故後の2011年5月より、福島市内においてサウンドスケープの変化の様子を定点観測し続けています。観察の際にフィールド録音した音は、『福島サウンドスケープ』(http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/~nagahata/fsp_311/) というウェブページにて公開しています。

想定するパートナー

市民団体 (暴力的な団体を除く)

具体的な連携、事業化のイメージ

作品の展示、レクチャーなど

これまでの取組事例

第5回放射線防護に関する市民科学者国際会議 (2015年9月、東京、作品上映、レクチャー)
表現の不自由展 (2015年1月、東京、作品展示)
A WINDOW ON FUKUSHIMA (2013年3月、2017年8月、福島、フランス、作品上演)

教育
学習支援
健康福祉
防災
都市計画
地域産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

環境放射線、低線量被ばく
による人間や環境への
リスクについて
人々にお伝えします



線量計付 GPS 首輪を付けたチェルノブイリのオオカミ。
位置情報と被ばく線量が毎時衛星経由で研究者に届く



夢

環境放射線の専門的な知識と経験
を福島の人々のために役立てたい

環境放射線研究所

トーマス ヒントン

Thomas HINTON

教授 博士 (放射生態学)

研究室 URL

<http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/index.html>

専門分野

環境放射線学；放射生態学

特許情報、著書、論文

Where the wild things are: influence of radiation on the distribution of four mammalian species within the Chernobyl Exclusion Zone, *Frontiers in Ecology & the Environment*
DOI:10.1002/fee.1227 (2016) 等
100 以上の論文 (査読付き) を科学雑誌に発表しています。



主に避難区域における低線量被ばくが野生動物へ与える影響について、調査研究を行っています。

野生動物の外部被ばく量を調査するため、線量計付 GPS 首輪を動物に装着し、動物の移動経路と外部被ばく線量データを同時に得る方法を開発しました。こうした研究成果から放射能に汚染された生態系の改善につなげられるよう調査研究を行っています。

想定するパートナー

福島県や県内の自治体・猟友会の方々、国際共同研究者など

具体的な連携、事業化のイメージ

野生動物に関係する機関と共同で研究を進めたい

これまでの取組事例

フランスの European Network of Excellence in Radioecology にて 10 か国、11 機関の研究コーディネーターの勤務経験があります。その他、これまでもたくさんの国際的な共同研究を実施してきました。

教育
学習支援
健康福祉
防災
都市計画
地域産業振興

食・農
経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフサイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

機械工学全般、
再生可能エネルギー
をサポートします



夢

工学の知識でより良い
ふるさとに

共生システム理工学類

島田 邦雄

SHIMADA Kunio

教授 博士(工学)

研究室 URL

<http://www.sss.fukushima-u.ac.jp/~shimadakun/>

専門分野

流体力学、エネルギーシステム工
学、機械工学、電磁気学、振動学、
物質工学

特許情報、著書、論文

- ・島田邦雄、風車、特開2014-141901
- ・島田邦雄、機能性ゴムの製造方法、機能性ゴム及び触覚センサ、特願2015-178273
- ・島田邦雄、杉本俊春、複雑形状体の鏡面研磨方法および鏡面研磨装置、特開2007-21661



世の中の物質は固体・液体・気体から成り立ちますが、液体と気体を総称して流体と言います。従って世の中の75%は流体と言えますので、産業界の殆どを扱っています。風車や水車等のエネルギー関係の他に、ナノサイズから宇宙工学まで幅広い工学分野に携わってきています。例えば、水回り、複合材料、センサー、加工・研磨、航空機、プラズマ、制振・免震震、太陽電池等多種です。

想定するパートナー

産業界、県等の試験施設、大学・高専

具体的な連携、事業化のイメージ

メーカーや試験施設、大学・高専との共同研究や技術指導

これまでの取組事例

大手メーカーとの共同研究や、大学・高専との共同研究、各種メーカーへの技術指導を通して、風車の開発や、複合材料、センサー、加工・研磨、制振・免震など多種の分野で開発を行ってきました。特に、研磨に関しては、オリジナルの研磨機の国内外への販売実績を有します。また、県内外で紙飛行機教室やエネルギー講座を開催しています。

教育
学習支援

健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア



こんなことができます!

哲学対話の手法を用いたファシリテーションや人材育成



夢

異質な他者どうしが共存できる平和で民主的な社会を再生したい!

人間発達文化学類

小野原 雅夫

ONOHARA Masao

教授 文学修士

研究室 URL

<https://www.ad.ipc.fukushima-u.ac.jp/~p030/>

<http://blog.goo.ne.jp/masaoonohara>

<http://blog.goo.ne.jp/masaoonohara>

専門分野

倫理学、哲学、政治哲学

特許情報、著書、論文

「民主主義の危機と哲学的対話の試み」(2015年)、「理解不能な他者に寄り添うとは」(2014年)、「非暴力の世紀へ—理想と現実の狭間で—」(2008年)



専門は18世紀ドイツの哲学者イマヌエル・カントの倫理学、政治哲学、教育学等を含む実践哲学体系の研究です。カントは、

価値観を異にする自由な者どうしが互いの人権を尊重し合う平等で民主的な社会を理想とし、それをグローバルに拡大した「永遠平和」の樹立を唱えました。現在私は、そうした理想を実現するための具体的手段を開発していこうと、「てつがくカフェ@ふくしま」を毎月1回開催して、多様な価値観をもった一般市民どうしが対等に語り合う場を提供しています。小さなお子さんから御年配の方まで、対話を通して成長したり共生したりするためのお手伝いをいたします。

想定するパートナー

学校、自治体、企業等

具体的な連携、事業化のイメージ

自由で対等な議論の場づくりとファシリテーション

これまでの取組事例

- ・「てつがくカフェ@ふくしま」世話人・ファシリテーター
- ・福島大学附属小学校2年生「子どものための哲学ワークショップ」ファシリテーター
- ・福島県庁「川内村若者ふるさと再生検討会」座長
- ・須賀川市中学校「人権啓発セミナー」講師

教育
学習支援

健康
福祉

防災
都市計画

地域
産業振興

食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

